

授業概要

7月25日(水)

2時限 10:40 ~ 12:10

科目名	担当教員	概 要
仕事のための基礎数理 1	松岡東香	小・中学生レベルの算数/数学を土台に、企業での業務に必要な数理解析法について基礎から講義する。簡単な計算演習を行う中で、所得分布、人口統計、金利変動、アイスの価格設定、地震と地殻変動、気温変化と桜前線、体格と運動能力など、具体的な数値データを数多く採り上げる。演習を通し、経済・商業分野の関数・統計ならびに自然科学分野のデータ処理などを学び、“仕事に使える”基礎数学力の習得を目指す。
地域文化資源とミュージアム	塚原正彦	地球志向で考えてみると、夢と感動を育み、未来への人づくりをミッションにした都市や産業の創造が起きているのがみえてくる。パリ、ベニスなどの世界遺産を持つ都市は、見せるだけ、お土産を売るだけのこれまでの観光ではなく、“まち”そのものを美や感動をテーマにしたミュージアムにする転換をなしとげ、まちを学びに訪れる人を集客することで大きな成果をあげている。GDPでは表すことができない幸せづくりを実現し、世界から注目を集めているブータンもまたそうである。それらの先進事例をヒントに、地球文化資源の魅力と可能性を発見し、それを糸口にしたプロジェクトを展開するために何から手をつけ、どのようにしてプランを描き、人を結集させるか、そのノウハウを習得するのがこの講義のねらいである。
フィジカルコンピューティング1	高藤清美	目的に応じたマイクロプロセッサによる制御プログラムの作成法を学ぶ。マイクロプロセッサを搭載したモデル装置（Arduino互換ボード）を用い、基本的なデジタル入出力プログラム、アナログ入出力プログラミング、各種の周辺装置の制御プログラムなどを例題として取り上げ、基本的なセンサーやアクチュエータを用いて、これらを制御するためのプログラムを作成しながら各種のプログラミング手法を講義する。なお、授業で使用するモデル装置（Arduino互換ボード）は各自が組み立てる。
世界遺産A	小松 進	世界遺産は地球と人類の歩みが刻み込まれた歴史的記念碑である。とりわけその文化遺産は世界各地で繰り広げられたさまざまな文明の精華が凝縮し結晶化されたもので、それぞれの遺産は人類が営んだ諸文明の特質を読み解く最良の手がかりである。こうした文明読解の手段であるばかりでなく、世界遺産は今日観光の目玉としても注目を集めている。本講義では世界遺産の基礎知識を身につけるとともに、映像でさまざまな世界遺産を紹介しながら、人類文化のたどった歴史的軌跡への理解を深めていく。
アニメーション基礎	野田美波子	アニメーションは命の無い物に命を吹き込む、言わば魔法のようなものです。授業では主に2D（平面）アニメーションで動きの基本について学習しますが、3DCGアニメーションを制作する際にもこの考え方が役に立ちます。鉛筆と紙を使ったアナログ作画アニメーションの制作、PhotoShopを使用したデジタル作画アニメーションを制作します。使用ソフトPhotoShop、AfterEffect、DragonFlame。

3時限 13:00 ~ 14:30

科目名	担当教員	概 要
政治の基礎	木村卓司	政治学の基本概念である政治制度、政治参加、政治変動、政治体制、政治権力などについて、日本とアメリカ合衆国の事例も適宜紹介しながら概説する。また近年注目を集めている圧力団体、利益団体、世論、メディアなどの主要な政府外アクターとの関係についてもあわせて考察する予定。一般教養としての政治に関する基礎知識を身につけるだけでなく、政権交代を経験した日本政治を見る視点もあわせて養ってゆきたい。

4時限 14:40 ~ 16:10

科目名	担当教員	概 要
組込コンピューティング	高藤清美	私たちの身の回りにはコンピュータを内蔵した装置や機器が数多くあります。これらの装置の多くは、コンピュータとしてマイクロプロセッサと呼ばれるLSI（大規模集積回路）を中心に構成され、電子回路の規模は小さくても普通のコンピュータと全く同じ概念を用いて構成されています。この授業では、マイクロプロセッサを用いたモデル装置を使いながら、コンピュータの仕組み、動作原理、メモリ回路の仕組み、周辺装置の仕組みなどについて学習します。
国際社会と文化A	小松 進	世界各地で個別に花開いたさまざまな文明を結びつけ、それらを一つの国際社会へとまとめ上げるきっかけをつくったのは、ヨーロッパ諸国の海外進出であった。授業では、国際社会の形成に大きな役割を果たしたこのヨーロッパ歴史も取り上げる。ヨーロッパ世界は、いつ、どこで、いかにして形成されたのか。それはそもそもいかなる特質を持つ世界で、近代に向けてどのように変貌して行ったのか、授業ではこうした問題を検討する。
ディスカッション&プレゼンテーションスキルA	ロバート・ジュベ	前半はビデオなどを用いて、比較的短い英語を聞いたり、読んだりしたあと、それについてディスカッションする授業。後半は比較的長い英語を聞いたり、読んだりしたあと、それについてディスカッションをする。健康問題、人間関係、社会問題、生活様式などについて、語彙の説明以外はすべて英語で行われる。ディスカッションに必要な語彙の増強も同時に行う。（コミュニケーション能力）